

平成24年度防災功労者知事表彰受賞団体の概要

しもいだに

下井足自治会自主防災組織(宇陀市)

当該防災組織は、宇陀市の合併後に発足した防災会で、発足してから6年がたつ。防災訓練を毎年実施しており、他の自主防災組織の模範となっている。訓練の内容については、創意工夫を施し、会長、また各地区の班長を中心に住民が一体となり訓練を行っている。本年度も、避難訓練、普通救命講習、及び広報活動等を実施し、地域住民の防災意識の高揚に積極的につとめている。

たかつかだい

高塚台2丁目自主防災会(河合町)

河合町内で最初に設立された自主防災組織であり、組織の結束や知識が豊かで、地域の小学校との連携がすばらしく、町内の牽引役としてほかの地区プラスの影響をもたらしている。

平成23年度の「防災教育チャレンジプラン」に参画し「学校を巻き込んだ地域の防災・防犯への取り組み」として、ゲストティーチャーとして通年の授業や体験に取り組んだ。

防災のみならず、防犯パトロール・登下校の児童の見守り、地域の祭り、学校支援ボランティア等、様々なイベントへの尽力も惜しみなく行っている。

奈良県安全・安心まちづくりアドバイザーして他の自主防災会や自治会などに出講している

家具転倒防止講習会・消火栓点検イベント・防災訓練等継続して計画的に活動している。

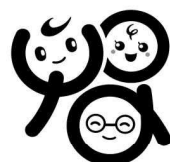
みゆき

御幸自治会地区自主防災会(王寺町)

町内で4番目、また大火事と57水害の被害を被った久度地区においては2番目に発足した防災会で、本年度7年目を迎える。過去の被災経験から防災意識が高く、その活動は後発の防災会のモデルとなっている。

防災施設での研修、防災学習会、訓練、非常時要支援者登録台帳の作成、共用の消火器設備、非常持ち出し袋の全戸配布、定期的な資機材点検、防災関連公報の配布など、継続した自主防災活動を実施されている。

各行事には多数の会員が参加し、防災組織が災害時に機能するかどうかの鍵となる「地域の人と人との交流」を促進され、地域住民一丸となって安全安心な地域づくりを行っている。



安全・安心まちづくり

奈良県